

## Ken Okuyama Cars

### ペブルビーチ・コンクールデレガンスにて Birdcage Kode61 北米ワールドプレミア

Ken Okuyama Cars (本社:山形県山形市 代表:奥山清行) は北米モンレーで開催された世界最大規模のコンクールデレガンスであるペブルビーチ・コンコースデレガンスのコンセプト・ローンにて Birdcage Kode61 の北米プレミアを行いました。また、コンクールデレガンス参加車両のみが参加できる Tour d'Elegance においては、歴代クラシックカーとともに 100 マイルあまりの行程を完走しました。ちなみにこのツアーにクラシックカー・カテゴリーではなく、コンセプトカー・カテゴリーの車両が参加するのは今年の Kode57Berlinetta がペブルビーチコンコース史上初です。“疾走するクルマの美しさを魅せる”というポリシーに基づき Birdcage Kode61 は昨年が続いて参加し、大きな喝采を浴びました。



Birdcage Kode61 は、奥山がピニンファリーナ在籍時にマセラティとのコラボレーションの元に手掛けた

Birdcage75th(2005)の進化形ともいえる、スポーツマインドと未来的なテイストを盛り込んだ提案です。マセラティ Tipo61 というエポックメイキングなコンペティション・モデルへの敬意をこめてデザインされたバルケッタスタイルの当モデルは最新のテクノロジーを適用しつつ、オリジナルモデルのモチーフを活かしたチャレンジでもあります。当モデルは Ken Okuyama Cars の山形ファクトリーにてハンドメイドされ、限定数が顧客へと販売されます。Birdcage kode61 は、Tipo61 バードケージの基本コンセプトに立ち返り、FR トランスアクスルレイアウトを採用しています。Birdcage の存在理由でもある繊細なスチールパイプフレームを基本構造とデザインテーマとして活かし、最先端の CFRP 製ボディパネルを組み合わせ、現代のスペックに合わせた高剛性と軽量化を実現しました。キャビンのテーマは、これまでの Ken Okuyama Cars モデルの特徴であった、ドライバーとパッセンジャーが独立したレイアウトのツインコックピットをさらに進化させたものです。左右対称に分割されたダッシュボードと独立した格納式ウィンドウシールドは、スポーティで機能的なソリューションです。左右のシートをベルトラインと同じ高さで二分するセンターパネルも Birdcage kode61 の大きな特徴です。センターパネル内部に強固なフレームを組み込んだスパイン構造は 当モデルの象徴的なテーマであり、ボディ剛性の強化にも大きく貢献しています。Ken Okuyama Cars は、2007 年から 4 モデルにわたるオリジナルハンドメイドスポーツカーの開発・製造・販売を行っています。

なお、Ken Okuyama Cars カナダベースの自動車メーカー“FAST”とパートナーシップを締結し、従来からの少量生産スポーツカーをメインとしたカロツツエリア事業に加えて、次世代の BEV、水素燃料自動車などの開発・製造を行うこととなりました。このパートナーシップの締結は、開発・製造プロセスをより効率化すると共にマーケティング・販売においても両社のリソースを活用し、事業拡大することを目的とします。

パートナーシップの締結発表イベントが 8 月 10 日にロサンゼルスにて、多くのゲストを招いて行われました。



Partnership “FAST”

[関連サイト]

[QRコード] オフィシャルサイト:<https://www.kenokuyamadesign.com/>



Birdcage Kode61 スペシャルサイト:[www.kenokuyamadesign.com/oneoff/press/kode61/](http://www.kenokuyamadesign.com/oneoff/press/kode61/)